

科目名	政治経済 I (後期)					
科目名(英)	Politics and Economics I (Latter Period)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	西直正・小原秀史	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治」及び「経済」について、公務員試験に出題される用語や基本概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					公務員試験に出題される用語について学び、説明することができる。
	○					公務員試験に出題される政治・経済の仕組みについて学び、説明することができる。
	○					公務員試験に出題される時事用語について学び、説明することができる。
		○				
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 社会科学 問題集編					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	政治 前期の復習テスト			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	経済 前期の復習テスト			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	政治 外国の政治制度①(アメリカ大統領制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	経済 国際経済とのかかわり①(ブレトンウッズ～プラザ合意)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	政治 外国の政治制度②(イギリス議院内閣制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	経済 国際経済とのかかわり②(自由貿易体制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	政治 外国の政治制度③(ドイツ、フランス、中国など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	経済 国民所得と経済成長①(GDP、NIなどの計算方法)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	政治 基本的人権の尊重(自由権①:精神的自由)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	経済 国民所得と経済成長②(三面等価の原則、経済成長率)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	政治 基本的人権の尊重(自由権②:経済的自由)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	経済 経済学史			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	政治 基本的人権の尊重(自由権③:身体的自由)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	経済 総合演習(国際経済史～経済学者)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	政治 総合演習(外国～自由権)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	経済 日本経済史①(戦後直後～朝鮮特需)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	政治 基本的人権の尊重(社会権・参政権・請求権)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	経済 日本経済史②(高度経済成長期～安定成長期)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	政治 基本的人権の尊重(その他、前提となる人権など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	経済 日本経済史③(プラザ合意～現代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	政治 国際政治と日本①(戦後復興～55年体制)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	社会 社会保障①(社会保障の分類、年金・医療制度)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	政治 国際政治と日本②(55年体制～現代)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
24	社会 社会保障②(社会保障の歴史等)・少子高齢化問題			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと		

	25	政治 国際政治と日本③(国連)	授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	社会 労働事情	授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	社会 環境問題	授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	社会 農業問題その他	授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	政治経済 総合演習①	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	政治経済 総合演習②	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	日本史 I (後期)						
科目名(英)	Japanese History I (Latter Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	前田 智成		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「日本史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					日本史史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> 麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の総復習問題(縄文～明治)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	近代6(大正①:大正期の内閣)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	近代7(大正②:護憲運動)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	近代8(昭和)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	現代1(戦後①:戦後直後～朝鮮戦争)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	現代2(戦後②:55年体制の確立)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	現代3(戦後③:55年体制の崩壊～自民政権の復活)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	現代4(戦後④:現代)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	総合演習1(大正～戦後)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	文化史①(飛鳥～安土桃山)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	文化史②(江戸～近代)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	総合演習2(文化史)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	総合演習3(全範囲)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	総合演習4(全範囲)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	総合演習5(全範囲)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	定期試験	◎	○				
						評価割合	
						100%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	世界史 I (後期)						
科目名(英)	World History I (Latter Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「世界史」について、歴史の大きな流れや登場人物、時代背景について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題をを用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					世界史の大きな流れや登場人物について学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の総復習問題(古代～第二次世界大戦)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	戦後の国際情勢①(第二次世界大戦の終結～冷戦構造)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	戦後の国際情勢②(冷戦下の国際情勢)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	戦後の国際情勢③(冷戦終結と現代の国際社会)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	中国史①(殷～後漢)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	中国史②(三国時代～五代十国)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	中国史③(宋～元)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	中国史④(明・清)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	中国史⑤(アヘン戦争～日清戦争)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	中国史⑥(変法運動～辛亥革命)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	中国史⑥(中国革命～中華人民共和国)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	総合演習1(戦後～中国史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	総合演習2(全範囲)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	総合演習3(全範囲)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
15	総合演習4(全範囲)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	定期試験	◎	○				
						評価割合	
						100%	
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	地理 I (後期)						
科目名(英)	Geography I (Ratter Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	藤田 理		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される人文科学分野のうち「地理」について、公務員試験に出題される用語や概念、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					公務員試験に出題される地理用語や仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 人文科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の総復習問題(気候～東アジア)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	東南アジア①(マレーシア、シンガポール)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	東南アジア②(インドネシア～ベトナム)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	南アジア				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	西アジア				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	アフリカ				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	ヨーロッパ				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	総合演習1(東南アジア～ロシア)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	北アメリカ				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	南アメリカ				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	オセアニア				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	人口・漁業				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	産業・時差				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	総合演習2(北アメリカ～時差)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	理科 I (後期)						
科目名(英)	Science I (Latter Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	松ヶ下 剛士		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される自然科学分野「理科」について、後期では「物理」と「地学」の用語、出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					公務員試験に出題される物理や地学の用語や仕組みについて学び、説明することができる。	
		○				授業で学んだ知識を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 自然科学 問題集編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	【物理】1. 力				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	【物理】2-1. 滑車, てんびん				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	【物理】2-2. ばね, 浮力				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	【物理】3-1. 物体の運動(等加速度運動)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	【物理】3-2. 物体の運動(落下運動など)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	【物理】4. 力学的エネルギー				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	【物理】5. 電気				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	【物理】6. 波動				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	【物理】7. 放射線				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	【地学】1. 地球の内部 2. 地震 3. 岩石・火山				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	【地学】4. 大気構成 5. 天気				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	【地学】6. 地球の運動 7. 太陽・月				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	【地学】8. 太陽系の天体 9. 恒星と宇宙 10. 地球の歴史				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	総合演習①(国家系過去問題を中心)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
15	総合演習②(地方系過去問題を中心)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	文章理解(現代文) I (後期)						
科目名(英)	Sentence Reading Comprehension (Modern Statement) I (Latter Period)						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	坪井 巨樹		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験に出題される分野のうち「現代文(古典も含む)」および「国語全般に関する知識(漢字・諺・慣用句・四字熟語など)」について、解法や出題傾向について学ぶ。また、知識定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○	
					その他:	△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				公務員試験に出題される文章問題の種類(要旨把握、内容合致、文章整序、空欄補充)に応じた効率のよい解法を用いて、教科書に記載される例題問題を解くことができる。	
	○	○				日本文学史や口語文法(敬語も含む)、四字熟語(頻出問題)など国語分野の知識を身につけ、教科書に記載される例題問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期の総復習問題(要旨把握～空欄補充)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	古典①(日本古典)、四字熟語、敬語(謙譲語)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	古典②(漢文)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	国文法総合①(副詞、助詞、接続詞など)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	国文法総合②(空欄補充)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	漢字・四字熟語・諺総合①(国家系過去問題)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	漢字・四字熟語・諺総合②(地方系過去問題)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	総合演習1(国家系過去問題を中心とした演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	総合演習2(国家系過去問題を中心とした演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	総合演習3(地方系過去問題を中心とした演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	総合演習4(地方系過去問題を中心とした演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	総合演習5(全問題から抜粋した演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	総合演習6(全問題から抜粋した演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	総合演習7(全問題から抜粋した演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	総合演習8(全問題から抜粋した演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	判断推理 I (後期)				
科目名(英)	Judgement Reasoning I (Latter Period)				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤宏光・松ヶ下剛士
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「判断推理」について、判断推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
		○			
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 判断推理 問題集編				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	前期の復習問題(論理・図形)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	試合と勝敗①(試合数、トーナメント)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	空間図形の分割①(立方体)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	試合と勝敗②(リーグ戦)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	空間図形の分割②(その他の立体)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	試合と勝敗③(ポイント数など応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	多面体・切断・回転①(切断面の考え方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	位置・方位①(位置関係の確認)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	多面体・切断・回転②(回転体)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	位置・方位②(方位の考え方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	空間図形の投影①(投影図からブロック数を考える)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	暗号①(五十音表)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	空間図形の投影②(最大数・最小数)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	暗号②(アルファベット表その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	空間図形の投影③(応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	16	手順			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	17	数量推理①(数直線を用いた計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	18	数量推理②(応用問題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	19	暦・カレンダー			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	20	総合演習①(国家系過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	21	総合演習②(東京地域過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	22	総合演習③(地方系過去問題を中心とした演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	23	総合演習④(全過去問題の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
24	総合演習⑤(全過去問題の演習)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

	25	総合演習⑥(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	総合演習⑦(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	総合演習⑧(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	総合演習⑨(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	総合演習⑩(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	総合演習⑪(全過去問題の演習)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	数的推理 I (後期)				
科目名(英)	Numerical Reasoning I (Latter Period)				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤宏光・金澤啓介
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	公務員試験に出題される数的処理分野のうち「数的推理」について、数的推理独自の計算方法や解法、出題傾向について学ぶ。また、定着度の確認および応用力をつけるために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
		○			
目標	濃度や仕事算など数的推理独自の解法について学び、教科書記載の例題問題を解くことができる。				
目標	数的推理独自の解法を応用して、過去に出題された公務員試験及び類似問題を解くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 テキスト編 ・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 数的推理・資料解釈 問題集編				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	前期の復習問題①(論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	2	前期の復習問題②(確率図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	3	仕事算①(一人当たりの仕事量が異なる場合)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	4	立体①(表面積)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	5	仕事算②(一人当たりの仕事量が同じ場合)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	6	立体②(体積)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	7	ニュートン算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	8	立体③(切断その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	9	比と割合①(表を使った計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	10	その他図形①(立体の展開図など)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	11	比と割合②(文字を使った計算)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	12	その他図形②(最短距離その他)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	13	記数法			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	14	約数・倍数①(最小公倍数、最大公約数の求め方)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	15	約数・倍数②(文章題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	16	整数①(整数論)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	17	整数②(文章題)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	18	魔方陣・覆面算・虫食い算			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	19	数列・規則①(等差数列、等比数列)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	20	数列・規則②(数列の和、階差数列)			授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	21	総合演習①(速さ全般)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	22	総合演習②(場合の数)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
	23	総合演習③(仕事算・ニュートン算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと
24	総合演習④(確率)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	

	25	総合演習⑤(年齢算、濃度、約数倍数)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	総合演習⑥(平面図形)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	総合演習⑦(売買損益)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	総合演習⑧(空間図形)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	総合演習⑨(比、数列その他)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	総合演習⑩(総合問題)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施し、評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				100%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	知能科目演習 I (後期)					
科目名(英)	Intelligence Exercise I (Latter Period)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	三藤 宏光	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	他の知能分野科目の授業で行われる科目(数的推理・判断推理・資料解釈・文章理解)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。授業で補うことができなかった解法の追加や、正答率の低い問題について反復練習を行い、スキルの定着を図る。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		授業内で紹介された解法を用いて、教科書記載の例題問題を解くことができる。
	○	○		○		過去に出題された公務員試験を解くことで多くの解法やパターンを学び、応用問題を解くことができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 過去問350(市町村、警察) ・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用) 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	判断推理演習8(数量推理、道順・位相)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	SPI対策1(基礎計算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	数的推理演習9(警察官過去問350の解説講義、速さ関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	判断推理演習9(警察官過去問350の解説講義、論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	SPI対策2(推論)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	数的推理演習10(警察官過去問350の解説講義、割合関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	判断推理演習10(警察官過去問350の解説講義、数量推理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	SPI対策3(命題)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	数的推理演習11(警察官過去問350の解説講義、その他計算)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	判断推理演習11(警察官過去問350の解説講義、図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	SPI対策4(速さ)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	数的推理演習12(警察官過去問350の解説講義、図形関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	判断推理演習12(市町村過去問350の解説講義、論理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	SPI対策5(資料)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	数的推理演習13(市町村過去問350の解説講義、速さ関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	16	判断推理演習13(市町村過去問350の解説講義、数量推理分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	17	SPI対策6(割合)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	18	数的推理演習14(市町村過去問350の解説講義、割合関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	19	判断推理演習14(市町村過去問350の解説講義、図形分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	20	SPI対策7(利益)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	21	数的推理演習15(市町村過去問350の解説講義、図形関連)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	22	判断推理演習15(過去問350の解説講義、その他分野)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	23	SPI対策8(言語分野1)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
24	SPI対策9(言語分野2)			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと		

	25	数的推理・判断推理総合演習1(国家一般職問題)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	26	数的推理・判断推理総合演習2(東京特別区問題)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	27	SPI模擬試験①	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	28	数的推理・判断推理総合演習3(海上保安問題)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	29	数的推理・判断推理総合演習4(刑務官問題)	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
	30	SPI模擬試験②	授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	知識科目演習 I (後期)					
科目名(英)	Knowledge Exercise I (Latter Period)					
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	馬淵和美・担任	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	他の知識分野科目の授業で行われる科目のうち知識科目(社会科学、人文科学、自然科学など)について、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心にを行う。授業で補うことができなかった知識の追加や、正答率の低い問題について分野別の復習を行い、知識の定着を図る。					
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:	
					実技:	
					※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標	
	○	○		○	知識分野の各授業で学んだ用語を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
	○	○		○	過去に出題された公務員試験を解き、授業内で補うことができなかった細かい論点や知識を追加することで、国家公務員一般職など難易度の高い問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	知識科目演習①			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	知識科目演習②			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	知識科目演習③			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	知識科目演習④			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	知識科目演習⑤			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	知識科目演習⑥			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	知識科目演習⑦			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	知識科目演習⑧			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	知識科目演習⑨			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	知識科目演習⑩			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	知識科目演習⑪			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	知識科目演習⑫			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	知識科目演習⑬			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	知識科目演習⑭			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	知識科目演習⑮			授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	模擬試験	○	◎			
	出席状況				○	
履修上の注意						

科目名	人文科学演習 I						
科目名(英)	Knowledge Exercise I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	人文科学分野について、前期に学んだ知識を確認するための復習を行うとともに、発展的・実践的な解法を学ぶために、過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を中心的に行う。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		前期に実施した人文科学の各授業で学んだ用語を再確認し、教科書記載の例題問題を解くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・オリジナルレジュメ(国家公務員一般職、海上保安、刑務官など過去の公務員採用試験で出題された問題を使用)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	日本史演習1(古代)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	世界史演習1(古代ローマ～中世ヨーロッパ)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	地理演習1(気候～地図)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	日本史演習2(中世)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	世界史演習2(近代ヨーロッパ～ナポレオン)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	地理演習2(農牧業、生産量など)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	日本史演習3(近世)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	世界史演習3(産業革命～対戦期)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	地理演習3(地域別)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	日本史演習4(近代)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	世界史演習4(中国史)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	地理演習4(人口、漁業、産業など)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	日本史演習5(全時代)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	世界史演習5(全時代)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	地理演習5(総合演習)				授業終了後、誤って解答した部分を見直すとともに、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	総合演習 I (後期)				
科目名(英)	Synthesis Exercise I (Latter Period)				
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	各担任
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	過去の公務員試験問題や実務教育出版が販売している模擬試験を用いて、本試験と同じ環境で試験を受験することで時間配分やマークシートの記入などの感覚を身につける。また授業で不足している演習等を行い、問題に慣れ得点率を上げる。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○		○	
	○	○		○	
	○	○		○	
	目標 時間配分について試行錯誤し、自身にあった回答順を探し出すことで、制限時間内に効率よく問題を解き終えることができるようになる。 毎回の試験結果をもとに自信の弱点科目を洗い出し、同科目を重点的に復習することで、目標とする公務員試験の合格点に達することができる。 多くの問題に触れることで、問題のパターンを知り、類似問題を解くことができるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 高卒程度公務員模擬試験(学内模試) 				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	夏期休暇期間中の課題に関するテスト(全分野)			
	2				
	3	公務員模擬試験①(実務教育出版 学内模試第1回)			
	4				
	5	公務員模擬試験②(実務教育出版 学内模試第3回)			
	6				
	7	公務員模擬試験③(実務教育出版 学内模試第5回)			
	8				
	9	公務員模擬試験④(実務教育出版 学内模試第7回)			
	10				
	11	公務員模擬試験⑤(実務教育出版 学内模試第9回)			
	12				
	13	公務員模擬試験⑥(実務教育出版 学内模試第11回)			
	14				
	15	中間試験①(知能系科目全般)			
	16				
	17	中間試験②(知識系科目全般)			
	18				
	19	公務員模擬試験⑦(実務教育出版 学内模試第13回)			
	20				
	21	公務員模擬試験⑧(実務教育出版 学内模試第15回)			
	22				
	23	公務員模擬試験⑨(H26海上保安学校(特別)採用試験)			
24					

	25	公務員模擬試験⑩(H27海上保安学校(特別)採用試験)					
	26						
	27	公務員模擬試験⑪(H28海上保安学校(特別)採用試験)					
	28						
	29	公務員模擬試験⑫(H29海上保安学校(特別)採用試験)					
	30						
評価方法	毎回の模擬試験結果を集計し、その結果で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				100%
履修上の注意							

科目名	適性試験・一般教養対策 I (後期)				
科目名(英)	Qualification Test and General Education Countermeasure I (Latter Period)				
単位数	5単位	時間数	75時間	担当者	各担任
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	公務員総合科1年				
授業概要	事務適性試験を毎朝反復して練習し、処理速度をあげるとともに適性試験に慣れ、点数の向上を目指す。また、前日や前週までに実施された授業の確認テストを実施することで、授業内容の理解・定着の確認を行う。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			
	○	○			
目標	事務適性試験を反復して解くことで、処理速度をあげ、より多くの問題を解くことができるようになる。				
目標	各科目の確認テスト(復習テスト)を行い、これまでの授業の理解度を確認する。また点数が取れなかった科目については再テストを受験し、知識を定着させ、同分野の問題を解けるようになる。				
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・実務教育出版 適性試験No.1～No.100 ・実務教育出版 適性試験ステップ25(基礎編・実戦編) ・オリジナル教材(一問一答集、ASODリル) 				
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	事務適性試験(第76回)および一般教養演習1(ASODリル政治テスト第16回)			
	2	事務適性試験(第77回)および一般教養演習2(ASODリル経済テスト第16回)			
	3	事務適性試験(第78回)および一般教養演習3(ASODリル日本史テスト第16回)			
	4	事務適性試験(第79回)および一般教養演習4(ASODリル世界史テスト第16回)			
	5	事務適性試験(第80回)および一般教養演習5(漢字テスト第16回)			
	6	事務適性試験(第81回)および一般教養演習6(ASODリル政治テスト第17回)			
	7	事務適性試験(第82回)および一般教養演習7(ASODリル経済テスト第17回)			
	8	事務適性試験(第83回)および一般教養演習8(ASODリル日本史テスト第17回)			
	9	事務適性試験(第84回)および一般教養演習9(ASODリル世界史テスト第17回)			
	10	事務適性試験(第85回)および一般教養演習10(漢字テスト第17回)			
	11	事務適性試験(第86回)および一般教養演習11(ASODリル政治テスト第18回)			
	12	事務適性試験(第87回)および一般教養演習12(ASODリル経済テスト第18回)			
	13	事務適性試験(第88回)および一般教養演習13(ASODリル日本史テスト第18回)			
	14	事務適性試験(第89回)および一般教養演習14(ASODリル世界史テスト第18回)			
	15	事務適性試験(第90回)および一般教養演習15(漢字テスト第18回)			
	16	事務適性試験(第91回)および一般教養演習16(ASODリル政治テスト第19回)			
	17	事務適性試験(第92回)および一般教養演習17(ASODリル経済テスト第19回)			
	18	事務適性試験(第93回)および一般教養演習18(ASODリル日本史テスト第19回)			
	19	事務適性試験(第94回)および一般教養演習19(ASODリル世界史テスト第19回)			
	20	事務適性試験(第95回)および一般教養演習20(漢字テスト第19回)			
	21	事務適性試験(第96回)および一般教養演習21(ASODリル政治テスト第20回)			
	22	事務適性試験(第97回)および一般教養演習22(ASODリル経済テスト第20回)			
	23	事務適性試験(第98回)および一般教養演習23(ASODリル日本史テスト第20回)			
	24	事務適性試験(第99回)および一般教養演習24(ASODリル世界史テスト第20回)			

授業計画

25	事務適性試験(第100回)および一般教養演習25(漢字テスト第20回)	
26	事務適性試験(ステップ25基礎編1回)および一般教養演習26(ASOドリル政治テスト第21回)	
27	事務適性試験(ステップ25基礎編2回)および一般教養演習27(ASOドリル経済テスト第21回)	
28	事務適性試験(ステップ25基礎編3回)および一般教養演習28(ASOドリル日本史テスト第21回)	
29	事務適性試験(ステップ25基礎編4回)および一般教養演習29(ASOドリル世界史テスト第21回)	
30	事務適性試験(ステップ25基礎編5回)および一般教養演習20(漢字テスト第21回)	
31	事務適性試験(ステップ25基礎編6回)および一般教養演習31(ASOドリル政治テスト第22回)	
32	事務適性試験(ステップ25基礎編7回)および一般教養演習32(ASOドリル経済テスト第22回)	
33	事務適性試験(ステップ25基礎編8回)および一般教養演習33(ASOドリル日本史テスト第22回)	
34	事務適性試験(ステップ25基礎編9回)および一般教養演習34(ASOドリル世界史テスト第22回)	
35	事務適性試験(ステップ25基礎編10回)および一般教養演習35(漢字テスト第22回)	
36	事務適性試験(ステップ25基礎編11回)および一般教養演習36(ASOドリル政治テスト第23回)	
37	事務適性試験(ステップ25基礎編12回)および一般教養演習37(ASOドリル経済テスト第23回)	
38	事務適性試験(ステップ25基礎編13回)および一般教養演習38(ASOドリル日本史テスト第23回)	
39	事務適性試験(ステップ25基礎編14回)および一般教養演習39(ASOドリル世界史テスト第23回)	
40	事務適性試験(ステップ25基礎編15回)および一般教養演習40(漢字テスト第23回)	
41	事務適性試験(ステップ25基礎編16回)および一般教養演習41(ASOドリル政治テスト第24回)	
42	事務適性試験(ステップ25基礎編17回)および一般教養演習42(ASOドリル経済テスト第24回)	
43	事務適性試験(ステップ25基礎編18回)および一般教養演習43(ASOドリル日本史テスト第24回)	
44	事務適性試験(ステップ25基礎編19回)および一般教養演習44(ASOドリル世界史テスト第24回)	
45	事務適性試験(ステップ25基礎編20回)および一般教養演習45(漢字テスト第24回)	
46	事務適性試験(ステップ25基礎編21回)および一般教養演習46(ASOドリル政治テスト第25回)	
47	事務適性試験(ステップ25基礎編22回)および一般教養演習47(ASOドリル経済テスト第25回)	
48	事務適性試験(ステップ25基礎編23回)および一般教養演習48(ASOドリル日本史テスト第25回)	
49	事務適性試験(ステップ25基礎編24回)および一般教養演習49(ASOドリル世界史テスト第25回)	
50	事務適性試験(ステップ25基礎編25回)および一般教養演習50(漢字テスト第25回)	
51	事務適性試験(ステップ25実戦編1回)および一般教養演習51(ASOドリル政治テスト第26回)	
52	事務適性試験(ステップ25実戦編2回)および一般教養演習52(ASOドリル経済テスト第26回)	
53	事務適性試験(ステップ25実戦編3回)および一般教養演習53(ASOドリル日本史テスト第26回)	
54	事務適性試験(ステップ25実戦編4回)および一般教養演習54(ASOドリル世界史テスト第26回)	
55	事務適性試験(ステップ25実戦編5回)および一般教養演習55(漢字テスト第26回)	
56	事務適性試験(ステップ25実戦編6回)および一般教養演習56(ASOドリル政治テスト第27回)	
57	事務適性試験(ステップ25実戦編7回)および一般教養演習57(ASOドリル経済テスト第27回)	
58	事務適性試験(ステップ25実戦編8回)および一般教養演習58(ASOドリル日本史テスト第27回)	
59	事務適性試験(ステップ25実戦編9回)および一般教養演習59(ASOドリル世界史テスト第27回)	
60	事務適性試験(ステップ25実戦編10回)および一般教養演習60(漢字テスト第27回)	
61	事務適性試験(ステップ25実戦編11回)および一般教養演習61(ASOドリル政治テスト第28回)	
62	事務適性試験(ステップ25実戦編12回)および一般教養演習62(ASOドリル経済テスト第28回)	
63	事務適性試験(ステップ25実戦編13回)および一般教養演習63(ASOドリル日本史テスト第28回)	
64	事務適性試験(ステップ25実戦編14回)および一般教養演習64(ASOドリル世界史テスト第28回)	
65	事務適性試験(ステップ25実戦編15回)および一般教養演習65(漢字テスト第28回)	

	66	事務適性試験(ステップ25実戦編16回)および一般教養演習66(ASODリル政治テスト第29回)					
	67	事務適性試験(ステップ25実戦編17回)および一般教養演習67(ASODリル経済テスト第29回)					
	68	事務適性試験(ステップ25実戦編18回)および一般教養演習68(ASODリル日本史テスト第29回)					
	69	事務適性試験(ステップ25実戦編19回)および一般教養演習69(ASODリル世界史テスト第29回)					
	70	事務適性試験(ステップ25実戦編20回)および一般教養演習70(漢字テスト第29回)					
	71	事務適性試験(ステップ25実戦編21回)および一般教養演習71(ASODリル政治テスト第30回)					
	72	事務適性試験(ステップ25実戦編22回)および一般教養演習72(ASODリル経済テスト第30回)					
	73	事務適性試験(ステップ25実戦編23回)および一般教養演習73(ASODリル日本史テスト第30回)					
	74	事務適性試験(ステップ25実戦編24回)および一般教養演習74(ASODリル世界史テスト第30回)					
	75	事務適性試験(ステップ25実戦編25回)および一般教養演習75(漢字テスト第30回)					
評価方法	毎日実施する小テスト(事務適性検査、漢字テスト、知識テスト、知能テスト)の平均点で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				100%
履修上の注意							

科目名	検定対策 I						
科目名(英)	Test Measures I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	各担任		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験でも出題され、また作文や履歴書作成等で必要となる漢字力を身につけるために、漢字能力検定に対応した学習を行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字力を身につけ、作文や履歴書等において適切な漢字表現ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・漢字能力検定テキスト(3級～2級)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	漢字検定対策①				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	2	漢字検定対策②				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	3	漢字検定対策③				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	4	漢字検定対策④				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	5	漢字検定対策⑤				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	6	漢字検定対策⑥				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	7	漢字検定対策⑦				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	8	漢字検定対策⑧				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	9	漢字検定対策⑨				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	10	漢字検定対策⑩				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	11	漢字検定対策⑪				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	12	漢字検定対策⑫				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	13	漢字検定対策⑬				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	14	漢字検定対策⑭				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
	15	漢字検定対策⑮				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと	
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および小テストの成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							

科目名	公務員リテラシー I (後期)					
科目名(英)	Public Officer Literacy I (Latter Period)					
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	全体に対して公務員の職種紹介を行い、その後に各自で目指す公務員の業務内容をホームページやパンフレット等で調べることで、業界に関する知識・理解を深める。また二次試験対策として入退室のマナーや履歴書の書き方指導、コミュニケーションに関する指導を行う。					
授業形式	講義: △	演習: △	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○			○		自らが目指す公務員の業務内容を理解し、将来目標を設定して他者に適切に伝達することができる。
	○		○	○		面接試験にあたり、入退室や基本的な受け答えができる。
	○			○		自己分析を済ませ、履歴書を作成するにあたり大まかな方向性ができている。
テキスト・教材 参考図書						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	夏期休暇期間中の振り返り(職場訪問の報告)				
	2					
	3	グループによる職種研究⑤(職場見学結果をPPTへ纏める)				
	4					
	5	グループによる職種研究⑥(自治体の総合計画や重点目標等)				
	6					
	7	二次試験対策①(二次試験の概要についてガイダンス)				
	8					
	9	二次試験対策②(面接カードの書き方)				
	10					
	11	二次試験対策③(集団討論、グループワーク)				
	12					
	13	模擬面接①(集団面接練習、面接練習以外の学生は学生間の練習)				
	14					
	15	模擬面接②(集団面接練習、面接練習以外の学生は学生間の練習)				
	16					
	17	模擬面接③(集団面接練習、面接練習以外の学生は学生間の練習)				
	18					
	19	模擬面接④(集団面接練習、面接練習以外の学生は学生間の練習)				
	20					
	21	グループによる職種研究⑤(発表のためのPPT作成)				
	22					
	23	グループによる職種研究⑥(発表のためのPPT作成)				
24						

	25	職種研究発表の予行演習						
	26							
	27	各グループによる職種研究発表①(第一部)						
	28							
	29	各グループによる職種研究発表②(第二部)						
	30							
評価方法	出席状況、面接検定、職種研究発表の成果、課題提出で評価する。							
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		宿題・レポート	○			○		20%
		面接検定			○	○		50%
		職種研究発表	○		○	○		20%
		出席状況				○		10%
履修上の注意								

科目名	作文試験対策 I						
科目名(英)	Writing Essay Countermeasure I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	佐藤 智子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	公務員総合科1年						
授業概要	公務員試験には作文も含まれる為、過去に出題されたテーマで作文を書き練習する。また、文章は思ったことをただ書くだけでは良い点数に結び付かないので、分かりやすい文章を書く為に必要な「構成」「正しい語順」「書き言葉の紹介」など作文に必要な決まりごとを練習問題形式で紹介する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				テーマ(過去問)に沿って作文を書き、添削された内容を確認し、次回の作文に活用できる。	
	○	○				分かりやすい文章の作り方を学び、読み手のことを考えた作文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・麻生キャリアサポート出版 絶対合格シリーズ 文章理解 テキスト編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	作文の基本的な注意点を紹介			配布したプリントは見直しをするように指示		
	2	段落分けについて、各段落の内容(大体のテーマで対応できるように)			配布したプリントは見直しをするように指示		
	3	主語と述語の正しい使い方(書き方)			配布したプリントは見直しをするように指示		
	4	修飾語の正しい使い方(書き方)			配布したプリントは見直しをするように指示		
	5	話し言葉と書き言葉の違い			配布したプリントは見直しをするように指示		
	6	一つの文に一つの内容でまとめる方法			配布したプリントは見直しをするように指示		
	7	自己PRに必要な事項(性格や頑張ったことなど)を質問形式に答える形でまとめる			授業時間中に完成しなかった場合は必ず空き時間を見つけて完成させ、本試験で活用でき		
	8	句読点の正しい打ち方、接続詞の意味を紹介			配布したプリントは見直しをするように指示		
	9	短文練習1(100字程度に自分史をまとめる)					
	10	短文練習2(100字程度に「これまで頑張ったこと」をまとめる)					
	11	短文練習3(100字程度に「将来の自分」をまとめる)					
	12	短文練習4(100字程度に「10年後の自分」をまとめる)					
	13	短文練習5(100字程度に「志望動機」をまとめる)					
	14	過去問(公安・事務と分けて)			添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示		
15	過去問(公安・事務と分けて)			添削後返却するが、少しでも疑問があれば個人的にいつでも質問に来るように指示			
評価方法	提出された作文の評価を平均化し、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表・作品	◎	◎	○	○		100%
履修上の注意							

科目名	Excel I								
科目名(英)	Excel I								
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	柴田大輔				
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験					
対象学科・学年	公務員総合科1年								
授業概要	社会に出て必要となるパソコンスキルを身につけるために、Excelの操作方法や関数を学ぶ。また習熟度に応じたクラスに分かれ、日本情報処理検定協会が主催する検定(情報処理技能検定)の合格を目指す。								
授業形式	講義:	△	演習:	△	実習:	○	実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
	○		○			Excelの操作方法・関数を学び、情報処理技能検定3級で出題される表を作成することができる。			
テキスト・教材 参考図書	・日本情報処理検定協会出版 情報処理技能検定試験 模擬問題集(3級～初段)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	Excel①(入力・表作成の基本、SUM・AVERAGE関数)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	2	Excel②(式の直接入力、絶対参照、ROUND・RANK関数)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	3	Excel③(IF関数、並び替えなどデータ処理の方法)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	4	Excel④(グラフの作成方法)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	5	Excel⑤(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.1)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	6	Excel⑥(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.2)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	7	Excel⑦(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.3)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	8	Excel⑧(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.4)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	9	Excel⑨(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.5)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	10	Excel⑩(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.6)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	11	Excel⑪(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.7)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	12	Excel⑫(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.8)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	13	Excel⑬(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.9)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
	14	Excel⑭(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.10)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと			
15	Excel⑮(検定模擬試験の練習:テキスト問題No.11)				授業終了後、該当範囲の類似問題を解いておくこと				
評価方法	定期試験を実施して評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	定期試験	◎	○				100%		
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。								

科目名	春期集中講座					
科目名(英)	Intensive Course in Spring					
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	各担任	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	公務員総合科1年					
授業概要	後期期末試験終了後(2月中旬)に、これまで学んできた科目の復習を行う。特に期末試験や模擬試験の結果をもとに弱点科目を洗い出し、重点的に補講を行う。また次年度の就職活動に向けて、職種研究のまとめや自己分析、面接練習を行う。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○		○		知識分野の各授業で学んだ用語を記憶したうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。
	○	○		○		知能分野の各授業で学んだ解法、テクニックを身につけたうえで、教科書記載の例題問題を解くことができる。
	○			○		自らが目指す公務員の業務内容を理解し、将来目標を設定して他者に適切に伝達することができる。
	○		○	○		面接試験にあたり、入退室や基本的な受け答えができる。
	○			○		自己分析を済ませ、履歴書を作成することができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・公務員採用試験の過去問題(国家一般職、海上保安官、警視庁、刑務官、東京消防庁、東京都、特別区等) ・実務教育出版 過去問350(警察官、市町村) 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	社会系科目補講1(政治経済:授業の総復習)				
	2	理科系科目補講1(生物:授業の総復習)				
	3	知能系科目補講1(数的推理論理:授業の総復習)				
	4	公務員リテラシーの振り返り(職種研究、二次試験対策)				
	5					
	6	社会系科目補講2(日本史:授業の総復習)				
	7	理科系科目補講2(地学:授業の総復習)				
	8	知能系科目補講2(判断推理論理:授業の総復習)				
	9	2015年度 海上保安(特別募集) 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	10					
	11	社会系科目補講3(世界史:授業の総復習)				
	12	理科系科目補講3(物理:授業の総復習)				
	13	知能系科目補講3(数的推理図形:授業の総復習)				
	14	面接練習の実施 面接検定に向けて所作を確認するとともに、面接内で質問される長所短所、自己PRを準備する			授業内で完成しなかった場合には、面接検定本番までに準備・完成させること。	
	15					
	16	社会系科目補講4(地理:授業の総復習)				
	17	理科系科目補講4(化学分野)				
	18	知能系科目補講4(判断推理図形:授業の総復習)				
	19	2016年度 海上保安(特別募集) 本試験 試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施				
	20					
	21	社会系科目補講5(弱点科目のポイント講義)				
	22	理科系科目補講5(弱点科目のポイント講義)				
	23	知能系科目補講5(弱点科目のポイント講義)				
24	グループワーク職種研究発表のまとめ 資料作成			授業内で完成しなかった場合には、グループ内で協力して発表日までに完成させること。		

25	ノル	ノル	ノル	ノル	ノル	ノル	ノル
26	社会系科目補講6(弱点科目のポイント講義)						
27	理科系科目補講6(弱点科目のポイント講義)						
28	知能系科目補講6(弱点科目のポイント講義)						
29	2017年度 海上保安(特別募集) 本試験						
30	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施						
31	社会系科目補講7(弱点科目のポイント講義)						
32	理科系科目補講7(弱点科目のポイント講義)						
33	知能系科目補講7(弱点科目のポイント講義)						
34	面接検定(個別面接)						
35							
36	社会系科目補講8(弱点科目のポイント講義)						
37	理科系科目補講8(弱点科目のポイント講義)						
38	知能系科目補講8(弱点科目のポイント講義)						
39	2018年度 海上保安(特別募集) 本試験						
40	試験終了後、自己採点および復習、解説講義を実施						
41	職種研究発表会(グループによるプレゼン発表) 知識系科目のクイズ大会						
42							
43							
44							
45							
評価方法	出席状況(規定出席率3分の2以上の要件を満たすこと)および模擬試験の成績状況で評価する。 評価はR評価とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	模擬試験	○	◎				50%
	出席状況				○		50%
履修上の注意							